

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

透明度は2.3~2.7mでした。検鏡の結果、珪藻類が大半を占めていましたが、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で7,900cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で1cells/ml、カレニア・パピリオナセアが最高で8cells/ml確認されました。

慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
透明度	2.4	2.3	2.5	2.7	2.5
前回透明度	3.1	2.3	2.2	2.4	2.8

プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	カレニア・ミキモトイ	カレニア・パピリオナセア	珪藻類
中学校前	0m	1,100	0	0	7,500
	2m	2,050	0	0	7,700
	5m	300	0	0	3,900
目ノクソ	0m	7,900	0	1	3,400
	2m	6,200	0	0	3,500
	5m	1,500	0	0	3,700
光松	0m	1,350	1	4	3,100
	2m	1,250	1	0	2,600
	5m	550	0	3	3,000
大鹿	0m	1,650	0	6	4,400
	2m	900	1	2	2,400
	5m	250	0	0	900
水試小割前	0m	300	0	5	1,600
	2m	400	0	8	1,800
	5m	200	0	2	1,400
大崎	0m	850			
	2m	1,100			



漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ(魚類のへい死): 10,000~50,000cells/ml
- ・カレニア・ミキモトイ: 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・カレニア・パピリオナセア(魚類のへい死): 赤潮発生時

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>